

2023(令和5)年度 活動報告

- 2023(令和5)年度 事業項目別活動報告

- 各課の活動報告

 - 基幹センター 地域支援課

 - 石巻地域センター 地域支援課

 - 気仙沼地域センター 地域支援課

 - 「伝承」に向けた取り組み

- 他誌掲載原稿

2023(令和5)年度 事業項目別活動報告

2023(令和5)年度のみやぎ心のケアセンターが実施した地域住民支援、支援者支援、普及啓発などの事業実績について、各項目別に報告する。

1. 2023年度の実績・全体数(表1)

表1 所属ごとの活動件数

	各地域センター地域支援課			基幹C 管理職	サポーターズ他	合計
	気仙沼	石巻	基幹			
地域住民支援	1,647	182	123	0	0	1,952
支援者支援	91	159	28	0	0	278
普及啓発	115	18	24	16	0	173
各種活動支援	0	0	0	0	0	0
会議連絡調整	185	295	159	26	0	665

2. 事業項目別

(1) 地域住民支援(表2)(表3)

表2 支援方法別対応延べ人数(手紙を除く; N=1,940)

支援方法	人数
訪問による相談	343
来所による相談(相談窓口などでの対応を含む)	871
電話による相談	698
集団活動の中での相談	0
ケース会議(対象者出席の場合)	7
受診同行	15
その他	6
計	1,940

表3 当センター初回支援時の経路(複数選択; N=91)

相談経路	人数
健康調査・全戸訪問	0
行政機関から	3
本人から	43
家族・親族から	9
サポートセンター・仮設支援員から	0
医療・福祉機関から	3
その他(近隣住民、職場、不明、その他)	39

①支援対象者について

a. 性別、年齢および就労状況 (図1)

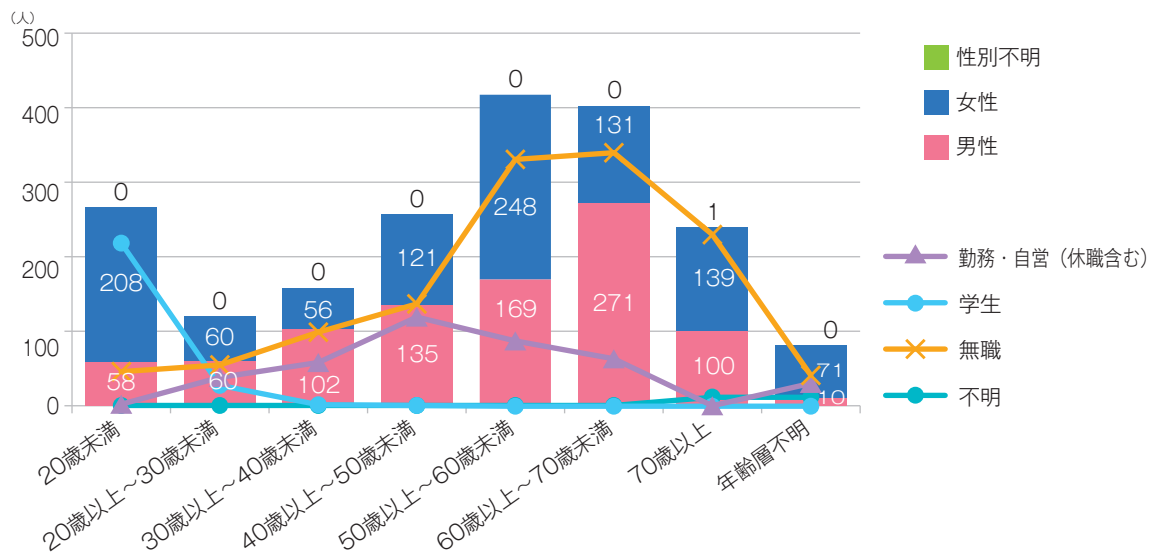


図1 性別・年齢階層別支援対象者数 (延べ人数; N=1,940)

b. 被災状況

死別の状況と対象者 (図2・3)、負傷状況 (図4・5)、住宅被害 (図6・7)

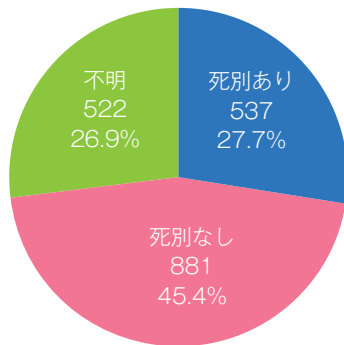


図2 死別の状況 (延べ人数; N=1,940)

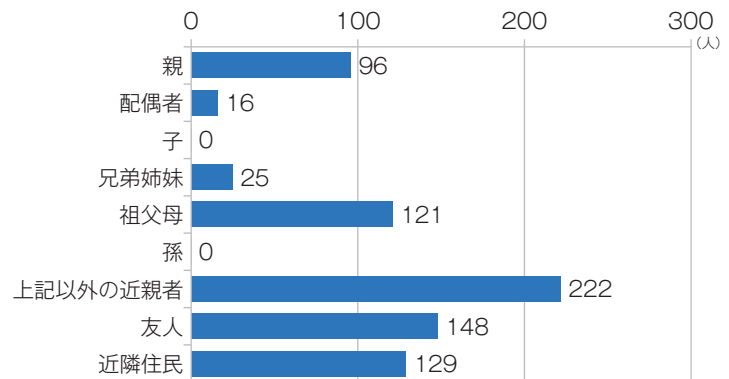


図3 死別の詳細 (延べ人数、複数選択; N=537)

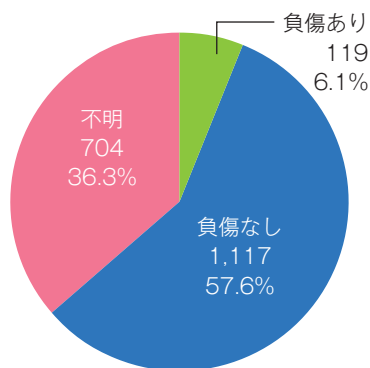


図4 本人または近親者の負傷の有無 (延べ人数; N=1,940)

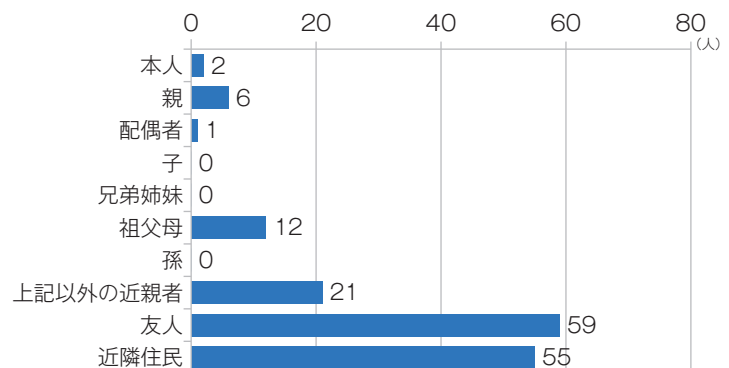


図5 負傷者の詳細 (延べ人数、複数選択; N=119)

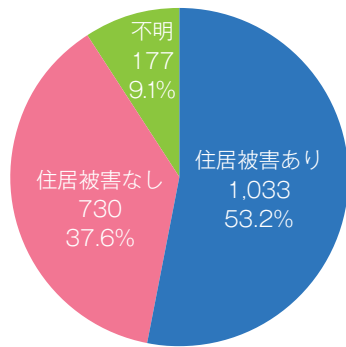


図6 住宅被害の有無
(延べ人数；N=1,940)

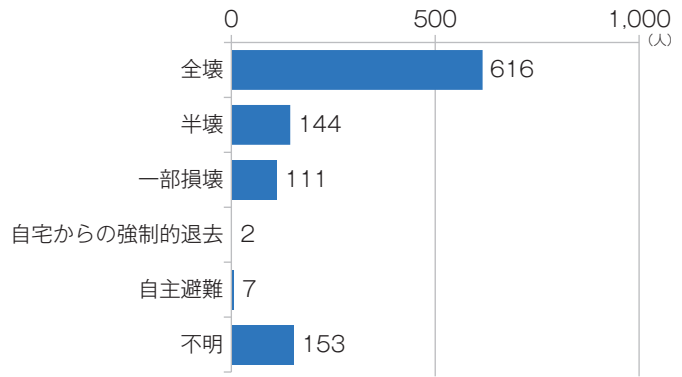


図7 住宅被害の詳細 (延べ人数；N=1,033)

c. 生活状況 (表4・図8・9)

表4 現在の居住環境 (延べ人数；N=1,940)

居住環境	人数
自宅	1,366
プレハブ仮設住宅	0
民間賃貸借上住宅	0
災害公営住宅	525
その他・不明	49

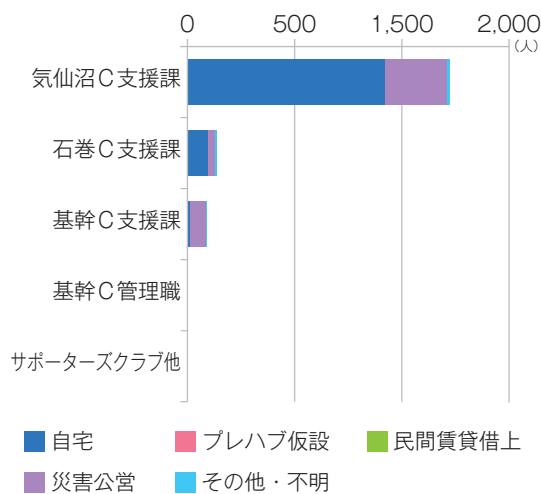


図8 担当課ごと現在の居住状況
(延べ人数；N=1,940)

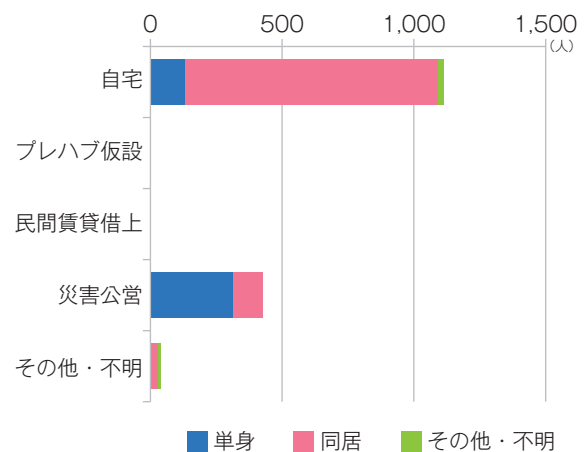


図9 居住環境と世帯の状況
(延べ人数；N=1,940)

d. 相談の背景 (図10)

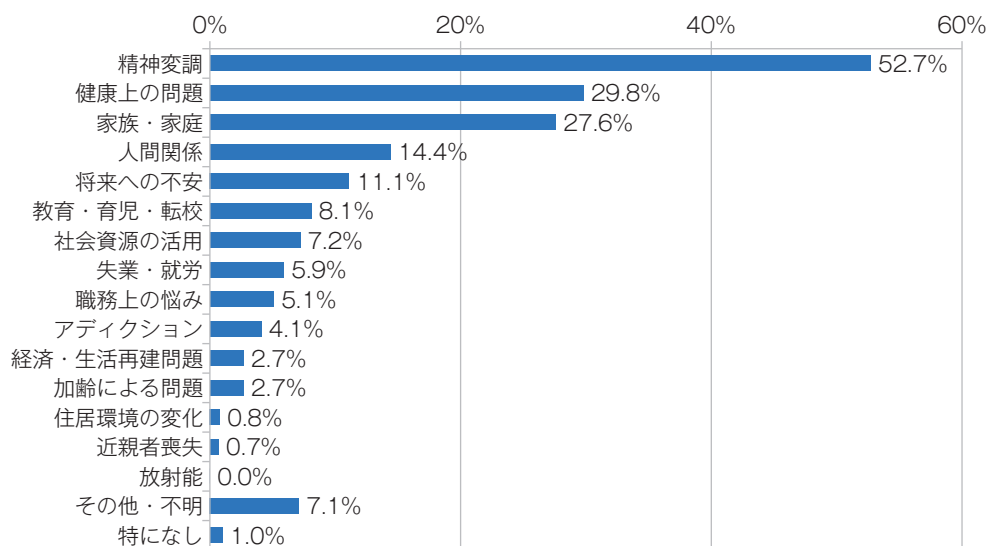


図10 相談の背景の有効回答数に対する割合 (延べ人数、複数回答; N=1,940)

e. 精神変調 (図11)

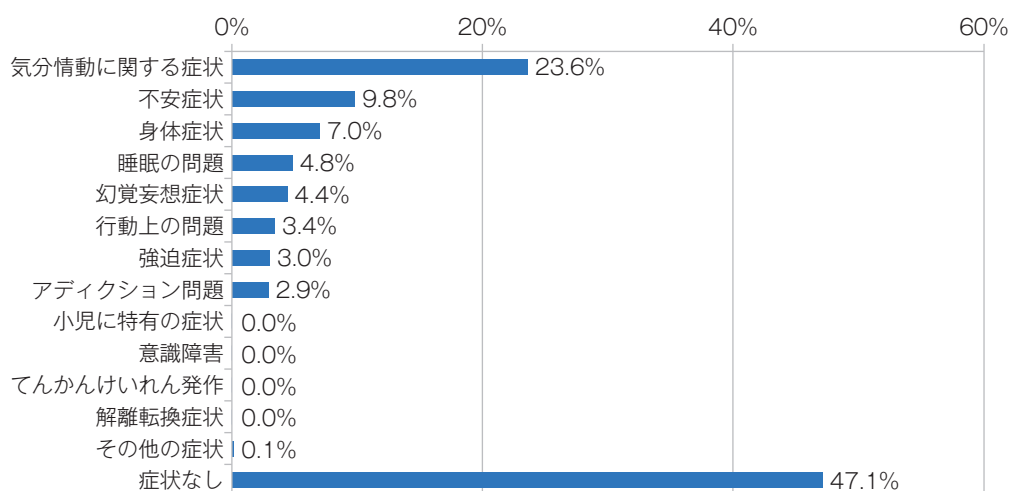


図11 精神変調内訳の有効回答数に対する割合 (延べ人数、複数回答; N=1,940)

f. 精神科受診歴の有無と病名、発症時期、現在の治療歴 (表5・図12)

表5 受診歴と現在の治療状況 (延べ人数; N=1,940)

精神科受診歴	人数
(治療継続中)	1,029
(治療終結)	24
受診歴あり (治療中断)	146
(未治療)	0
(治療状況不明)	9
受診歴なし	507
受診歴不明	225

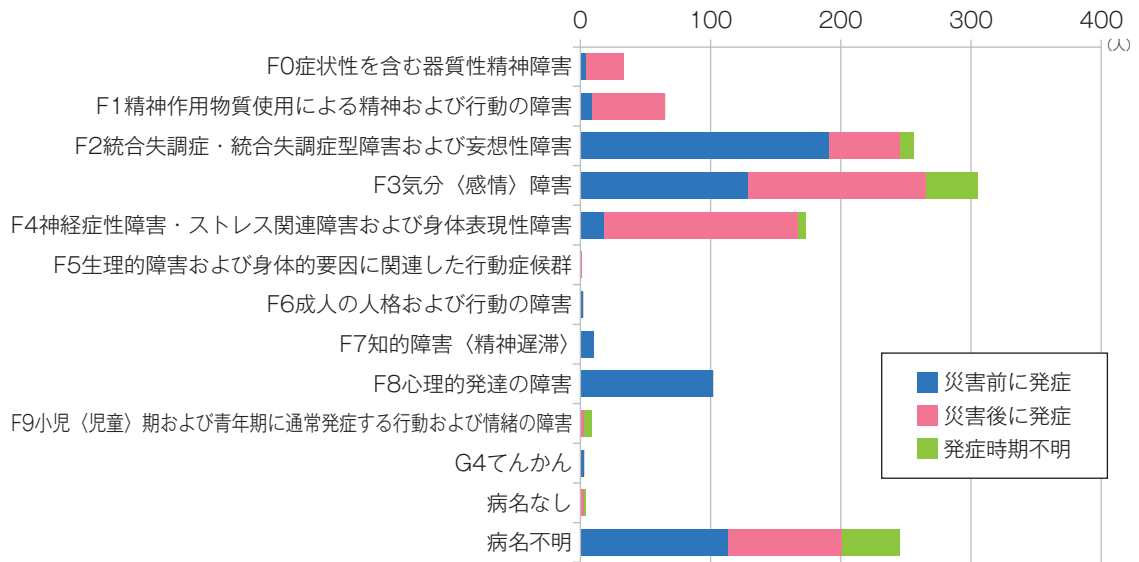


図12 受診歴あり・病名ありの方の疾患分類別人数（延べ人数、複数回答；N=1,208）

②支援内容について

a. 担当課ごと支援方法別件数（図13）

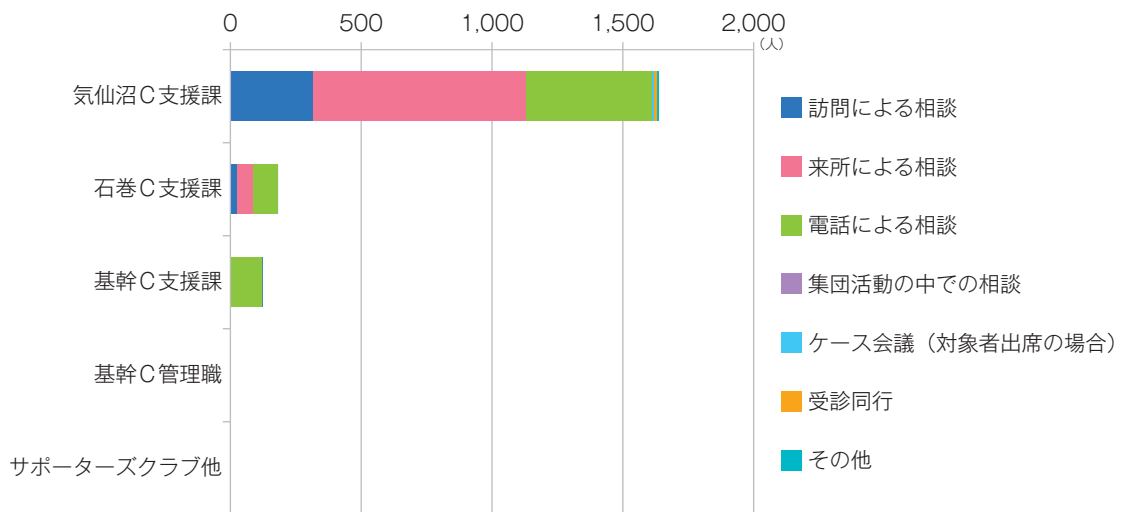


図13 担当課ごと支援方法別人数（延べ人数；N=1,940）

b. 相談者の内訳（図14）

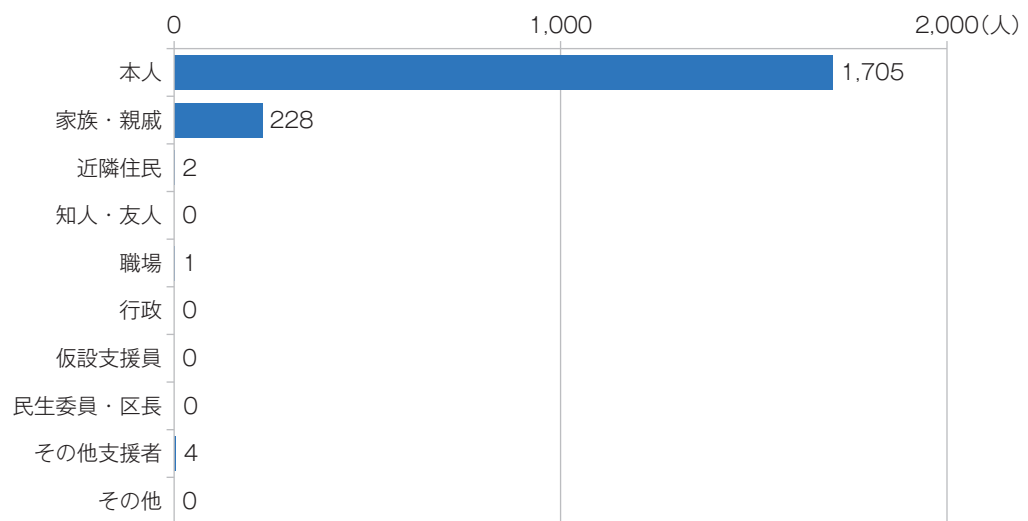


図14 相談者別人数（N=1,940）

c. 他機関による同席（図15）

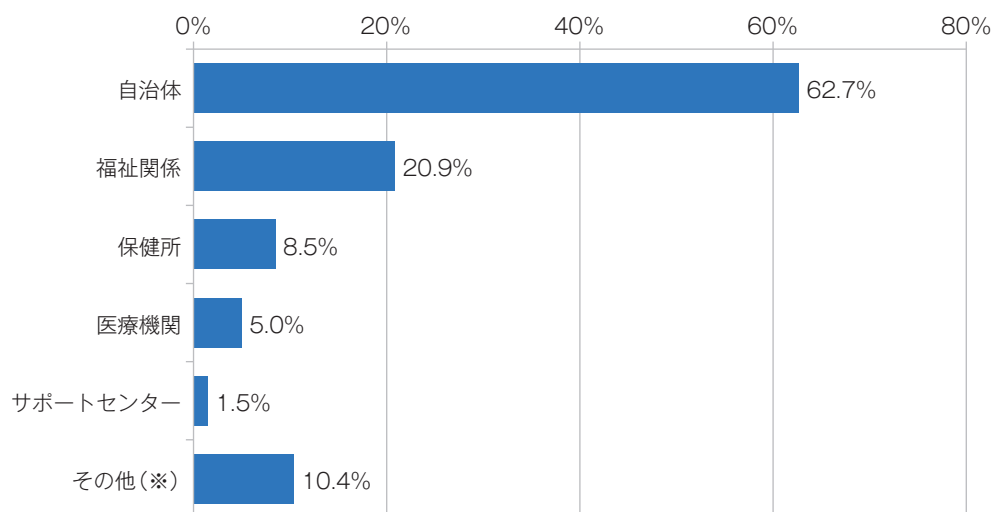


図15 同席他機関の有効回答数に対する割合（延べ人数、複数選択；N=201）

※「その他」には、教育機関、児童相談所、施設職員などを含む。

d. 担当課ごとの特徴 (図16)

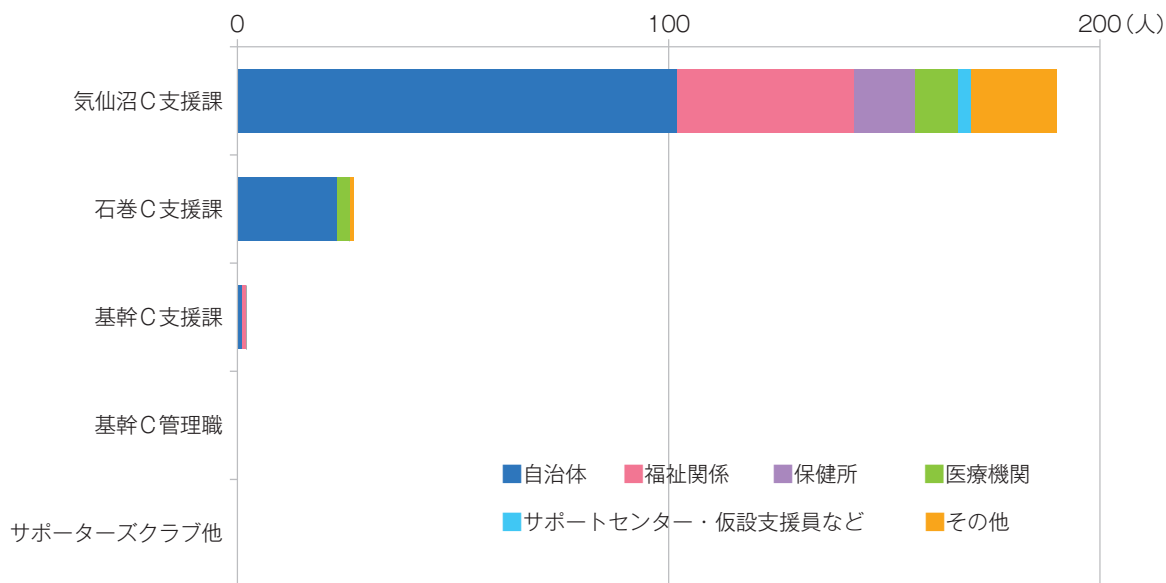


図16 担当課ごと 同席他機関の内訳 (延べ人数、複数選択；N=201)

③支援終結状況について (表6・図17)

表6 転帰 (N=1,940)

対応状況	人数	
継続 (延べ)	定期面談	1,192
	必要時面談	486
	その他	0
終了 (実数)	状況改善	221
	他機関紹介	37
	支援拒否	2
	その他	2

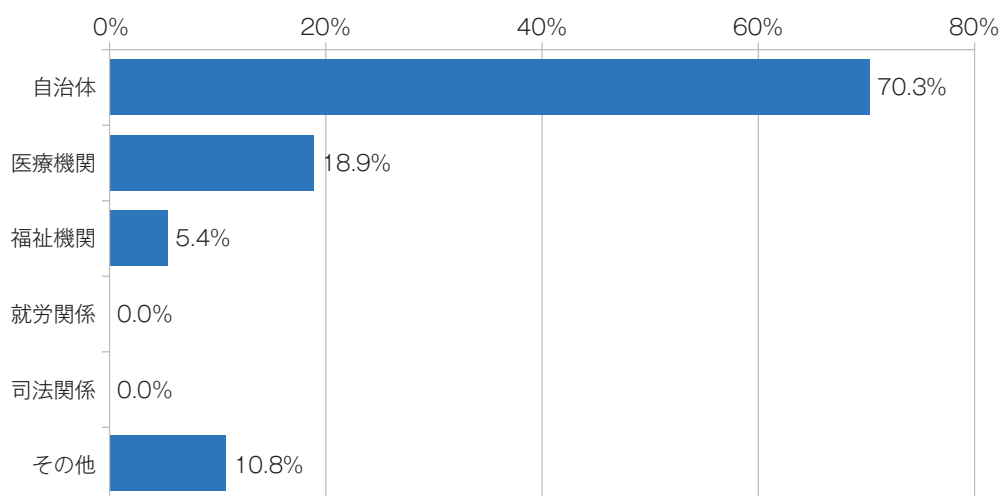


図17 他機関紹介内訳の有効回答数に対する割合 (延べ人数、複数選択；N=37)

(2) 支援者支援

①支援実施状況

a. 支援件数 (表7)

表7 支援者支援実施状況 (延べ件数; N=278)

支援内容	件数	対象者数
訪問・面談後の報告	9	9
専門的立場からの指導・助言	100	168
地域の課題	0	0
職場のメンタルケア	0	0
ケース会議 (対象者欠席の場合)	27	294
心の相談窓口の開設	24	24
健診支援	43	304
事務作業の支援	19	25
その他 (PFA研修※1、支援スキル研修※2、事業運営協力など)	56	563
計	278	1,387

※1 ※2 2020年度までは人材育成事業として計上した。

b. 専門的立場からの指導・助言の内容 (表8)

表8 専門的立場からの指導・助言の詳細
(延べ件数、複数選択; N=100)

専門的立場からの指導・助言詳細	件数
アルコール問題	8
ギャンブル問題	0
薬物問題	0
うつ	6
複雑性悲嘆	1
PTSD	3
虐待	5
その他	88
計	111

表8の「その他 88件」の内訳と割合を図18に示す。

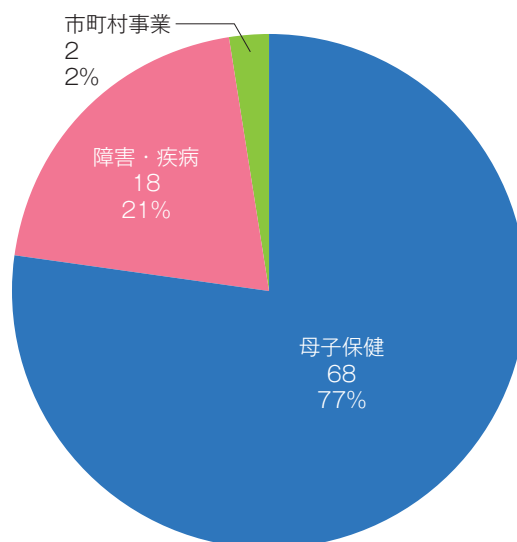


図18 専門的立場からの指導・助言「その他」 (N=88)

c. 支援対象者（図19）

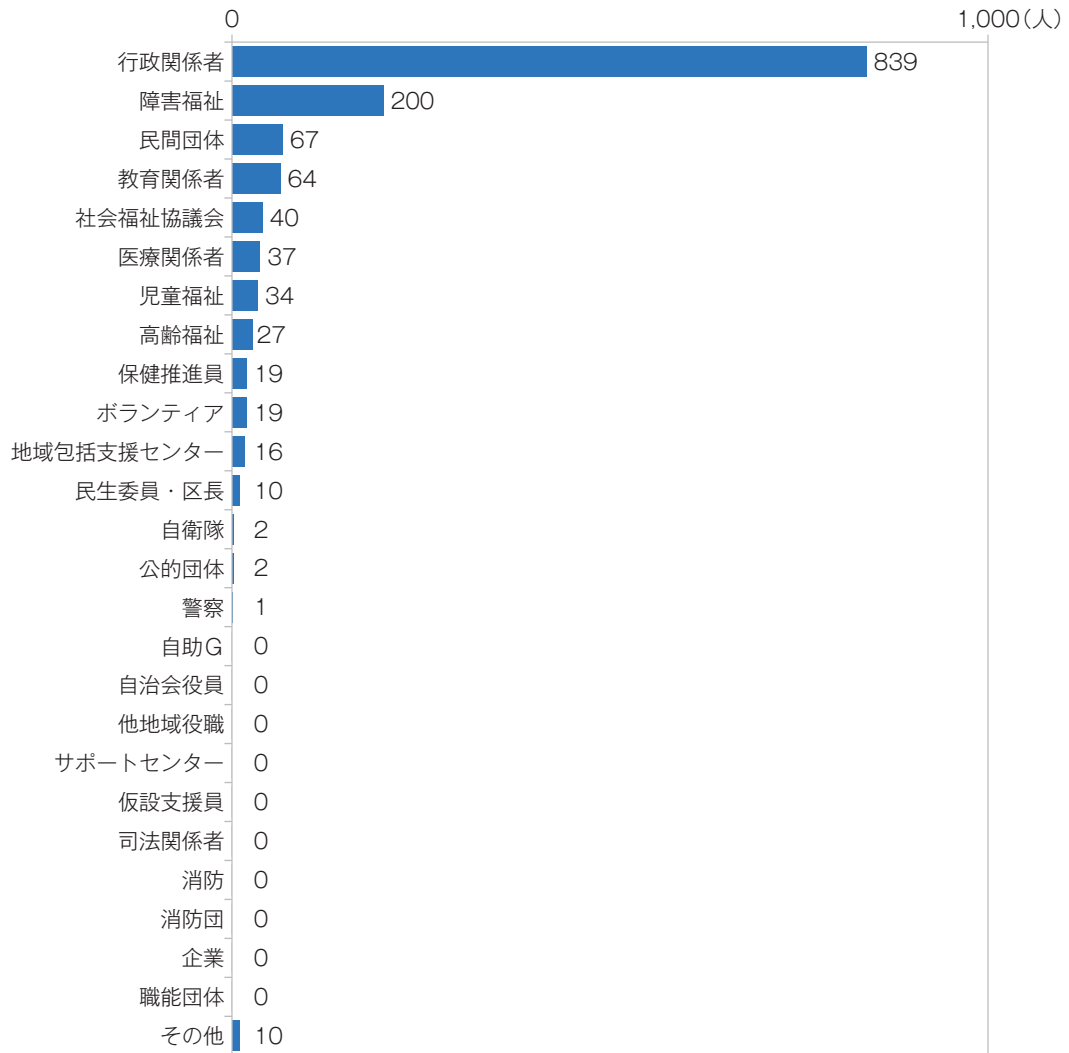


図19 支援対象者詳細（延べ人数；N=1,387）

②担当課ごと支援者支援の実施内訳（図20）

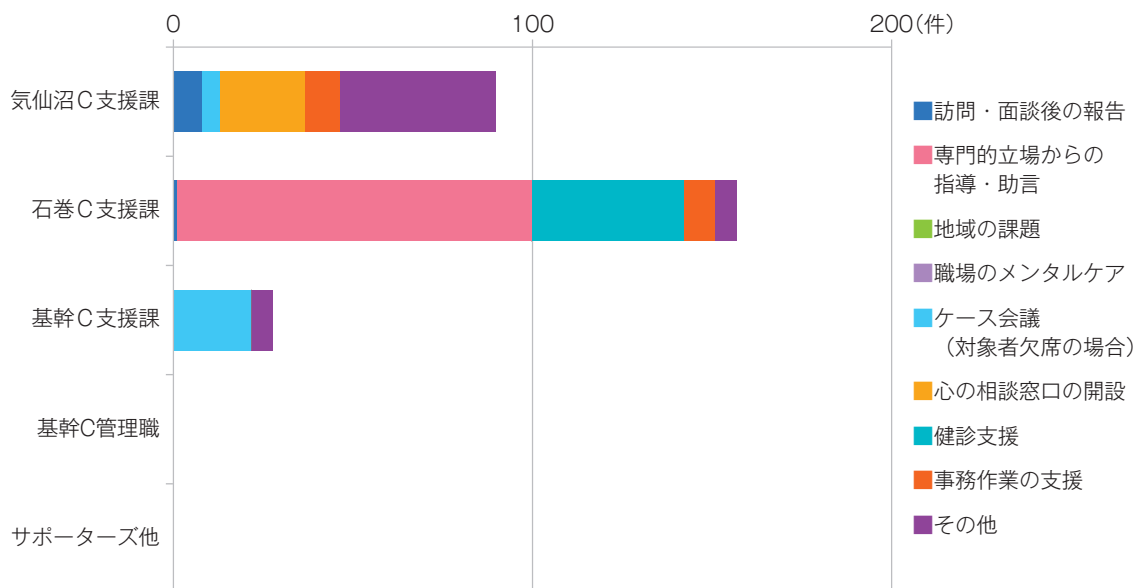


図20 担当課ごと支援者支援実施状況（延べ件数、複数選択；N=278）

③担当課ごと専門的立場からの助言指導の内訳（図21）

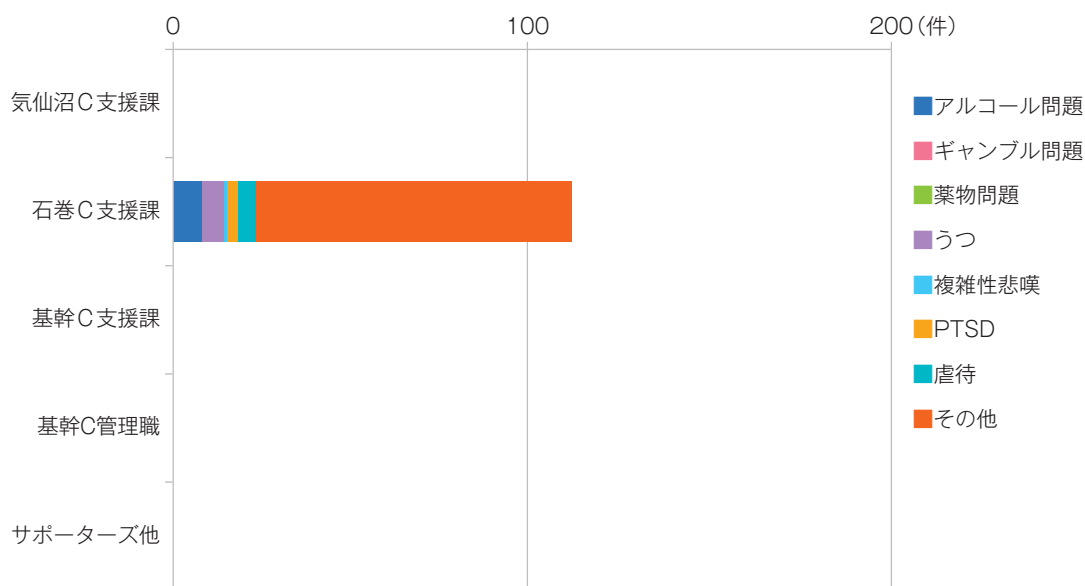


図21 担当課ごと専門的立場からの指導助言の詳細（延べ件数、複数選択；N=100）
 ※「その他」の詳細については図18を参照

(3) 普及啓発

①普及啓発研修（表9）

表9 普及啓発研修詳細（N=18）

	回数	参加者数
震災後の心の反応	0	0
精神疾患について	1	31
話を聞く場合の基本的技術（傾聴、遺族対応など）	2	81
アディクション問題（アルコール問題など）について	1	130
震災が子どもにもたらす影響	1	7
ストレスと心のケア・セルフケアについて	12	260
体の健康について	0	0
職場のメンタルヘルスについて	1	23
被災地の状況と当センター活動について	0	0

②調査研究・学会発表など（表10）

表10 調査研究

実施年	活動月	担当者	調査研究名	詳細
2023年	5月	福地 成	東日本大震災と津波が子どもの発達と精神的健康に与えた影響：みちのく子どもコホート研究の結果	2023年5月25日～28日：第11回アジア児童青年精神医学および関連専門職学会(ASCAPAP)世界会議（国立京都国際会館）において発表した。
2023年	6月	福地 成	どのような支援が地域では有効なのか？	2023年6月22日～24日：第119回日本精神神経学会学術総会（パシフィコ横浜ノース）シンポジウム96『災禍での育ち～みちのく子どもコホートから見つめる東日本大震災と新型コロナウイルス感染症パンデミック～』において、発表を行った。
2023年	7月	福地 成	ポスター演題「東日本大震災後に出産した母親のメンタルヘルスとその子どもの情緒や行動の問題に関する縦断研究結果」	2023年7月21日～22日：第20回日本うつ病学会総会（仙台国際センター）において、ポスターセッションにて発表を行った。
2023年	11月	福地 成	被災した子どもへの初期対応－PFAの拡がりと課題－	2023年11月14日～16日：第64回日本児童青年精神医学会総会（弘前市民文化交流館、アートホテル弘前シティ）シンポジウム1「東日本大震災がもたらしたもの－我々は何を学び、何を残そうとしたのか－」において発表を行った。
2024年	2月	福地 成	論文掲載「子どものための心理的応急処置（Psychological First Aid for Children）」	子どもの心とからだ日本小児心身医学会雑誌32巻4号に論文を掲載した。
2024年	3月	福地 成	ポスター演題「東日本大震災後の住民支援における要支援者の特徴の分析－みやぎ心のケアセンターの活動分析からみえること－」	2024年3月14日～15日：第42回日本社会精神医学会（東北医科薬科大学小松島キャンパス）において、ポスターセッションにて発表を行った。
2024年	3月	片柳 光昭	シンポジウム「災害と継承」	2024年3月16日～17日：第41回大会日本集団精神療法学会（兵庫県立大学看護学部）シンポジウム「災害と継承」のシンポジストとして登壇した。

③サロン活動（表11）

表11 サロン活動（N=20）

	各センター地域支援課			その他	合計
	気仙沼	石巻	基幹		
主催・共催サロン	5	0	11	0	16
他機関サロンへの協力	4	0	0	0	4